

読むこと②

第6学年

複数の観点から作品を読み深め、自分の考えをまとめること

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

登場人物の相互関係や場面についての描写をとらえることができず、主題にせまる考えをもつことができない。

考えの根拠が示されていない。

谷川の生きものは、川の自然現象に負けないで生きていたいのだと思う。

かにも人間と同じ生物だと伝えたいと思う。なぜなら、かに目線の物語だから。

クラムボンの話をしているか、の兄弟が楽しそう、あわの大きさを比べている時も楽しそうだから、この文章は楽しい話だと思う。

印象に残った部分についてのみの反応であり、作品全体から読み取ったことではない。

作品の内容についての読み取りがない。

実践の概要

単元名

宮沢賢治が創り出す世界を味わおう

『やまなし』光村図書

目標 複数の読みの観点から、作品を読み深めることができる。

- 内容
- 既習の読みの観点を振り返り、全体で共有する。
 - 観点を意識しながら、「五月」と「十二月」を読み、作品に込められた作者の思いについて、自分の考えをまとめる。
 - 資料「イーハトーヴの夢」を読み、作者の願いを知る。
 - 他の作品へと読み広げる。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

| | 学習内容（単元名） | つまずきの実態 |
|------|---------------------------|--|
| 第6学年 | 宮沢賢治が創り出す世界を味わおう | 登場人物の相互関係や場面についての描写をとらえることができず、主題にせまる考えをもつことができない。 |
| 第5学年 | すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう | 一方的なものの見方から抜け出せず、主題にせまる感想をもつことができない。 |
| 第4学年 | 読んで考えたことを話し合おう | 登場人物の姿・様子について、文中の一部から表面的にしかとらえられない。 |
| 第3学年 | 場所の移り変わりをとらえて感想をまとめよう | 中心人物の様子を表す言葉から、中心人物の置かれている状況を想像して、気持ちを書くことができない。 |
| 第2学年 | 音読げきをしよう | 叙述に込められている登場人物の気持ちの変化を想像することができない。 |
| 第1学年 | 音読発表会をしよう | 場面の様子や登場人物の言動を表す言葉を見つけ、想像を広げることができない。 |

単元末の目指す姿

- 読みの観点を整理・共有することで、叙述を根拠にしながら、一方的な読み方ではなく多面的に作品を読み進めることができるようになる。
- これまでの学びから得た読みの観点を再認識し、他の作品を読む際にも使うことができるようになる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

★深い学びにつながる実践

作品を読み深めるためには、どのような観点が大切であったかを想起・整理させる。

活動のねらい▶ 共有した観点を指標にして、個々に読み進めていくことができる。

ここがポイント

“物語を深く読むために大切だと思うこと”を問いかけ、出てきた意見を全体の場で、集約・整理をする。そして、整理された観点を、自分が読み進めるための手助けになるものとして、以降の一人学習で活用できるようにする。

授業の様子



前に“起承転結”を考えたことがあったな。

“情景”も気持ちを表しているから大切だったね。

今回は、場面の“対比”が使えるかな。

“事件”の前後で、中心人物が大きく変わっていたよ。

(期待される児童の姿)

既習の「読みの観点」をグループごとに振り返り、全体の場で交流・確認し、読み深めるために必要な観点を整理することで、見通しをもった課題解決を図ることができ、深い学びにつなげることができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

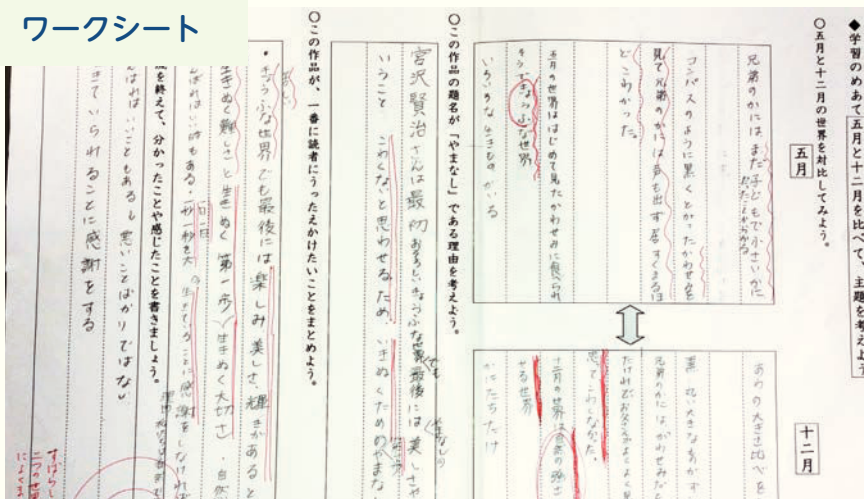
観点ごとに読み取りを整理して、ワークシートにまとめさせる。

活動のねらい▶ 整理することで、全体交流の際に、観点ごとの読み取りを関係付けやすくなる。

ここがポイント

これまで培ってきた読みの視点を活用しながら、“題名”“対比”“人物の行動変化”などの観点を整理したワークシートを作成し、個々に考えをまとめる。そして、複数の観点到共通して表れていることから、主題にせまっていく。全体交流の中では、自分の考えを改めていく過程がわかるように、書き加えていくようにする。そうすることで、自分の考えの根拠を自分で振り返ることができるようにする。

ワークシート



(期待される児童の姿)

観点ごとに考えをまとめるため、何に注目すればよいのかが明確になる。また、交流の際には、ある観点で見られることが他の観点でも見られるといった関係性をとらえることができる。